

釜石発

下校時の津波避難訓練

震災で校舎が全壊し今は内陸部にある仮設校舎で授業を続けている釜石市の鶴住居小学校で、徒歩やスクールバスでの下校途中に大津波警報が発表された想定で避難訓練が行われました。新川原地区では児童16人が高台の三陸縦貫自動車道の管理施設を目指しました。避難階段に通じる扉は普段、出入りできないように鍵がかかっていますが、児童たちは実際と同じように扉のプレートを壊して鍵を開け、避難階段を上りました。子どもたちは訓練を通して避難の経路や手順を改めて確認しました。(2/9 ニュースエコー)



釜石発

月命日の集中捜索

震災から5年11か月。釜石市両石町の海水浴場付近では釜石警察署の署員15人が陸上と海上に分かれて、行方がわからない人の手がかりになるものがないか捜索を行いました。来月11日で震災から6年となりますが、県内ではいまだに1100人以上の行方が分かっていません。(2/11 ニュース)



釜石発

在仙県人会 復興状況視察

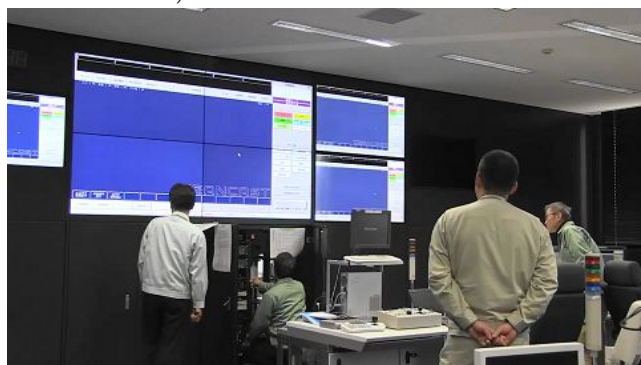
仙台市の岩手県人会の一行12人が釜石市役所を訪れ、野田武則市長から復興の状況などを聞きました。会の創立100周年を記念して沿岸の視察を企画したもので、鶴住居町では2019年のラグビーワールドカップに向け4月から本体工事が始まるスタジアムの建設現場を見学しました。(2/13 ニュースエコー)



大船渡発

市の防災センター完成

大船渡市盛町のリアスホール西側の高台に新たな消防の拠点となる大船渡市防災センターが完成しました。国道45号沿いの消防庁舎が老朽化したため新たに整備されたもので、鉄筋コンクリート造り4階建ての庁舎棟と4階建ての訓練棟が建てられました。施設には、水難救助訓練を行う水深5メートルの屋内プールやガソリン4000ℓ・軽油6000ℓが貯蔵できる給油所も備えています。(2/14 ニュースエコー)



宮古発

さんりく元気ラジオ!

(ワイドステーション内 毎週水曜日放送)

陸前高田災害FMの菅野陽子さんが、2月5日に陸前高田市コミュニティホールで行われた「第60回市青協青年芸能祭」について伝えてくれました。虎舞や和太鼓、踊り、歌など、市内の各地区の郷土芸能を披露する祭りで、この日は制服を着た中学生から、高齢の方まで13組が出演しました。主催団体の村上会長は「青年会も忙しい仕事の合間をぬって練習し、芸能の伝承に努めています。これからもっと会員を増やし、復興の一助となれば良い」と話していたという事です。(2/15)



「IBC復興支援室だより」facebookでも発信中
詳細はIB公式サイトから <http://www.ibt.co.jp/>
IBC復興支援室事務局 019-623-3122